

■【トピックス】
反日不買運動！



日本と韓国の対立が激しくなっ
てきています。日本政府が7月に
発表した韓国に対する輸出優遇
措置の撤廃により、韓国では反日
不買運動が激化しています。これ
により、両国経済に影響が出て
います。

ただ、その影響も日本にとっては限定されたもの
になっているのに比べて、韓国にとっては大きな打撃
になりつつあります。収束の兆しがないまま対立は
続きそうです。

■【ビジネス・アイ】
軽減税率！

社長 「いよいよ今度こそは、消費税の増税が実施さ
れそうだね」

花野 「そうですね。世界経済は、いつリーマン級の
経済危機が来てもおかしくない感じですが、今
回は増税になりそうですね」

社長 「幸いうちの会社は軽減税率の対象になるよう
な取引はないから、前回の増税の時と同じよう
な感じで準備をしているけどね」

花野 「そうですね。軽減税率の対象となる取引があ
ると対応が大変になりますからね。世間には、
まだ対応を決めかねているところもありますね」

社長 「そうなんだ。もうそんなに時間もないよね」

花野 「ええ、そうなんです。でも、零細企業だとどう
対応するか、考える時間的な余裕のないのが
現実ですね」

社長 「ほんとうに中小零細企業にとっては重荷だよ
ね。そういう企業はどうするんだろうね」

花野 「そうですね。たとえば、テイクアウトもできる家
族経営のレストランなんかですと、レジ対応も
あるので、家族会議でテイクアウトをやめるか
どうか決めるという話も聞きますね」

社長 「結局そういうことになるよね。日本経済にとっ
てもトータル的に良くないことになりそうだね」

花野 「今回の消費税の軽減税率の導入に関して
は、税金が経済の足を引っ張ることになりそう
です」

社長 「キャッシュレスのポイント還元だけでは、対策
は不十分だね」

■【今月のキーワード】
軽減税率

消費税及び地方消費税（以下、消費税等）の税率は
令和元年10月1日から8%から10%へ引き上げら
れるが、低所得者への配慮の観点から、「酒類・外食
を除く食品」と「定期購読契約が締結された週2回
以上発行される新聞」を対象に、消費税等税率を8%
のままとする軽減税率制度が実施される。軽減税率制
度の下では、軽減税率の対象品目を取り扱う事業者
は、売上げや仕入れを税率ごとに区分して経理する必
要があり、複数税率に対応した請求書等の交付や保存
などが必要になる。

■【今月の1冊】
『誤出荷ゼロ！自社倉庫管理術』

山田孝治 著
幻冬舎 ¥800

製造業や卸・小売業に限らず、企業にとって在庫管
理は重要です。しかし、実際の管理となると帳簿と実
地棚卸の数字が合わないことも多々あります。

多品種の商品を販売する通販企業
では在庫管理に間違いが許されませ
ん。そんな企業から商品保管と発送
を請け負っているプロの倉庫業者の
ノウハウが詰まった1冊です。在庫
管理で困っているすべての業種の企
業にお勧めです。



■【編集後記】

今年もお盆には、石垣島にダイビングに行ってきた
ました。行きの飛行機は、台風の影響を避けるために日
程を1日早めました。帰りの飛行機では、人生で初め
て航空性中耳炎になってしまいました。幸い重症化せ
ず投薬で治療しています。

『経営のセカンド・オピニオン』vol.150（毎月1日発行）

●定価：2400円/年 ●発行日：2019.9.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦丸ビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808